

平成 3 1 年 1 月 1 0 日
3 0 2 会 議 室

平成 3 1 年第 1 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

平成31年第1回立川市教育委員会定例会

1 日 時 平成31年1月10日(木)

開会 午後 1時

閉会 午後 1時46分

2 場 所 302会議室

3 出席者

教育長 小町 邦彦

教育委員 松野 登 田中 健一

伊藤 憲春 嶋田 敦子

署名委員 伊藤 憲春

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 栗原 寛

教育総務課長 庄司 康洋

学務課長 浅見 孝男

指導課長 小瀬 和彦

統括指導主事 森保 亮

教育支援課長 矢ノ口 美穂

統括指導主事 川崎 淳子

学校給食課長 南 彰彦

生涯学習推進センター長 五十嵐 誠

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 井田 容子

案 件

1 報告

- (1) 教育環境の整備について
- (2) 平成30年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018（立川市民科）」について
- (3) 入学準備金の支給について

2 その他

平成31年第1回立川市教育委員会定例会議事日程

平成31年1月10日

302 会議室

1 報告

- (1) 教育環境の整備について
- (2) 平成30年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018（立川市民科）」について
- (3) 入学準備金の支給について

2 その他

◎開会の辞

○小町教育長 ただいまから、平成 31 年第 1 回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい。

○小町教育長 次に議事内容の確認を行います。本日は報告 3 件でございます。その他は、議事進行過程で確認をいたします。

次に、出席者の確認を行います。栗原教育部長、お願いいたします。

○栗原教育部長 本日の第 1 回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございますが、教育部長、教育総務課長、学務課長、指導課長、川崎統括指導主事、森保統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長でございます。

◎報 告

(1) 教育環境の整備について

○小町教育長 それでは、1 報告(1)教育環境の整備について、を議題といたします。

庄司教育総務課長、ご説明をお願いいたします。

○庄司教育総務課長 教育環境の整備について、説明をいたします。

学校施設につきましては、老朽化の対応や児童・生徒の安全・安心の観点から、特にこの 5 年間にしまして 10 億を超えるような大規模改修など、大きな経費をかけて教育環境を充実してまいりました。また現在進行中のものもございますし、今後進めていかなければならない新たな取組もございます。

資料について説明いたします。

建替え工事につきましては、平成 26 年度に複合施設の一環として第一小学校の新校舎の建設がなされました。また、若葉台小学校の新校舎の建設につきましては、現在、設計の最終調整を行っているところでございます。実際の建設工事につきましては、今年の 7 月ぐらいから着手する予定でございます。現在、旧けやき台小学校は、ほぼ更地になってございます。2 月の定例会で最終の設計図面等をお示しできるかと思っております。

全国的にも例のない保全計画に基づく大規模改修につきましては、再編個別計画等の影響もございまして、平成 31 年度に着手する第七小学校を最後にこちらは終了となります。

しかしながら長寿命化というのは重要なことですので、中規模改修に落として、これを基本として施設改修、施設の改善を図ってまいります。詳細については今後、関連部署と調整してまいります。

トイレ改修につきましては、平成 29 年度から 3 年間で改修を進める予定でございます。

また、今回の目玉でございますけれども、特別教室への空調機設置につきましては、今年の猛暑などを踏まえたと市としても計画の前倒し、もともと平成 31、32 年度で終了という

ことでございましたけれども、これの前倒しが必要と考え、先の12月議会で7校分の空調機設置の予算が認められました。また残りの第七小学校は大規模改修の一環で、立川第一中学校につきましては中規模改修が保留となっておりまして、別途、平成31年度に実施できるよう今調整をしているところでございます。

学校内の防犯カメラにつきましては、大きな事件がございましたので、その後防犯上の観点から設置をしましたが、老朽化が進んでおります。その後の入れ替えを計画的に行っておりまして、今年度で小学校の入れ替えが終了し、中学校につきましては今後入れ替えを進めてまいります。

また今後、体育館への空調機設置やLED照明への切り替えなど、新たな需要に対しての対応が必要になってまいります。教育費に全部をかけるというのはなかなか難しいので、財源に限りがありますので、今後、市の内部で調整をしながら計画的に進めてまいります。

簡単ですが説明は以上でございます。

○小町教育長 報告ありがとうございます。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、田中委員。

○田中委員 今ご説明いただきまして、改めて教育環境の整備について嬉しい限りです。大きな予算を伴うことから、清水市長をはじめ関係庁内の方々に感謝申し上げたいと思います。

とりわけ30年度は、大規模改修工事1校、トイレ改修工事が小・中学校合わせて6校、防犯カメラシステム改修工事3校、さらに特別教室空調機設置工事3校、進めていただきました。その中で特にこれから特別教室の空調機設置工事、平成31年度前半までに6校が設置されるために補正予算が認められたということです。そういうことで学校はもとより、地域、保護者の皆さんが喜んでおられます。このようなハード面だけでなく、英語教育向上のためのALTの確保、児童の東京英語村体験、中学生の平和学習派遣事業等のソフト面まで進めていただいたことに感謝申し上げます。

その上で、平成31年度以降の教育環境の整備の予定としては、特別教室空調機設置工事7校など合わせて6件の整備が予定されているわけです。そういう点で改めて、厳しい予算の中で清水市長がいかに教育の向上・発展を重視しておられるか、その表れであると思います。重ねて感謝申し上げます。そのために大事なことは、こうして一生懸命教育環境の整備に努力しているわけですから、これまで以上に一層の教育効果を上げることが重要ではないかと思っています。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 この表を見ますと、平成30年度までいろいろな工事が行われ、そのたびに教育環境が変わってきて、子どもたちも学びやすくなりました。保護者の方々もきっと喜んでいるだろうと思います。

ところで、平成31年度以降の予定についてですが、教育環境の整備についての中長期的な計画あるいは見通しというものはあるのでしょうか、お願いいたします。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 31年度以降の中長期的なものということで、まず31年度の状況でございますけれども、今、市長部局で査定をしているところでございます。詳しいことは言えませんが、先ほど私のほうで第一中学校の空調という話がありましたけれども、トイレ、空調機含めて私どもとしてはそれをやっていきたいと考えています。31年度それが終われば今回の補正予算含めて特別教室は全部となります。

今後の長期的な展望ということでございますけれども、まず老朽化への対応と新規事業に対する対応、両方あると思います。老朽化は中規模改修であるとか入れ替えだとか、防犯カメラもそうですけれども、体育館への空調機設置などは計画的に進めなければいけないかなと思います。もちろんLED照明もそうでございます。まだ年次計画でお示しできる状況ではございませんが、様々今ご要望いただいているところでございます。

26市の中でも動き出している市もございますので、今の段階でなんでもないということは予算の関係もございまして言えませんが、考えているところではございます。予算がかなり伴うものですから、再編計画と中規模改修と財源と、様々子どもの安全・安心面等踏まえて計画していきたいなと思っています。具体的なことをお示しできないので申し訳ないのですがそういった状況でございます。

○小町教育長 栗原教育部長。

○栗原教育部長 少し補足となりますけれども、今までの学校施設含めた公共施設というのは、こちらの資料にありますとおり保全計画というものに基づいて長寿命化を図っていこうと。大きなものでいうと、大規模改修を行って50年の寿命を70年に延ばして使っていこうということでございましたが、今までの九小以降やってきました。それはそれでどの学校も非常にきれいになり環境的にもよくなりました。

ただし、如何せん1校に10億以上の巨額な予算が必要になってしまう。ただしそれ以降、使うのが20数年となってしまいます。費用対効果はどうなんだということ等含め、また今後の公共施設全体の床面積を40年間で約20%減らさなければいけないというそういった、そうしなければ公共施設自体が維持できないという、そういった課題もございます。

その中で、こちらにありますとおり再編個別計画というのを新たに策定した中で、そういった床面積の圧縮、プラス機能としては変わらないような形で、また人口減少社会を迎えると、様々なそういった背景を見据えた中で施設をどうするかということが、今までは保全計画だけだったのが再編個別計画が出てきて、今は再編個別計画の中でそれぞれの施設をどういうふうに延命をするか、また老朽化へ対応するかということがございます。

今後につきましては、もちろん中規模改修で延命ということが一つはございますが、トータルで、それぞれ学校施設は一つは地域の核施設となりますが、プラス周辺にあります例えば学習館であるとか児童館であるとか学童である、そういったものを含めて再編をどうするかということ、そこが一番中長期的な大きな流れになってくると思います。再編個別計画につきましても案という形で出ておりますが、実際にどういった組み合わせで行うというまで

の決定には至っていませんが、今後そういった市長部局での決定事項も踏まえて、それは適宜、教育委員会の中でも報告してまいりたいと考えているところです。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 よく分かりました。一つ私も教育環境の整備について気になるのはスラブ厚の問題、この辺りもどういうふうに改善していくのか、今でも心配はないということは重々承知ながらも、やはり一旦問題になったことについては気になっていることと思います。お願いいたします。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 スラブ厚ということで、今年度、補正で六小と八小と九小のスラブ厚の補強工事の設計というものを実は組んでございます。スラブということでやる予定で動いているところでございますが、今ちょうどその話をしている中で、専門家の方から建築基準法に想定する荷重に対して、学校施設というのは子どもたちの体重が軽いということで、かかる体重が少ないのではないかとということで、実際の荷重に合わせてもう一度計算をし直したらどうかというアドバイスをいただきました。そうした中で、スラブに対して私どもが最初に想定したよりも補強する枚数が減ってきております。最終的に何枚になるかまだ結論は出ていませんけれども、そういった意見を聴きながら、改修時期もいつにするかも含めて、補強については今後検討してまいりたいと思います。

1つ言われたことは、日本の建築技術というのは優れていて、例えばスラブの厚さが2cm少なかったとしても、すぐに座屈するようなものはない、今までの震災の中で床が座屈したということはないということを聞いております。体育館の天井が落ちたところは聞いておりますけれども、そういったことですので、これから先のことなので100%そうかとなかなか言えないですけれども、専門家のご意見をいただいておりますので、急いでやることは必要ですけれども、緊急に何かすぐに予算を上げてというレベルまでは今のところ考えてないところでございます。そういったこともホームページ等で市民の方に周知をしてございますので、順次、新たな情報が加われば周知していきたいと思っています。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 そういった情報も関係する学校、地域、保護者に情報提供していただければ、皆さん安心してこの教育環境、受入れていくだろうなと思っております。よろしくお願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。伊藤委員。

○伊藤委員 意見というよりも、きめ細かな対応に対して年頭ですので感謝申し上げますとともに、これからもよろしくお願いいたしますということだけでございます。

○小町教育長 嶋田委員。

○嶋田委員 周りの子どもたちや保護者からもトイレの臭いが気になるとか、洋式にしてほしいといったことはよく聞いておりますので、対処してくださるということで大変ありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。

それと、ちょっと勉強不足で申し訳ないのですが、ブロック塀の改修などはどういった枠組で対応するのか教えていただいてもよろしいでしょうか。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 ブロック塀のことにつきましては、調査をした後、3段階に私ども評価をしまして、3つのレベルで改修をするということで昨年もご報告させていただきました。

今のところ平成30年度の予算でやるものと経過を見るものとございますけれども、30年度予算で残りの幾つかの学校につきまして改修をする予定で今動いているところでございます。東京都から補助金が出るということですので、その補助金を一部使いながら、ブロック塀を壊して新たな柵をつくるということも考えているところでございます。現状、学校のブロック塀が高いもの、高槻のような高いものはございませんけれども、安全・安心のために建築基準法で想定する高さ以下に削ったり、新たににつくったり、そういったような対策を31年度に向けて実施してまいります。

○小町教育長 嶋田委員。

○嶋田委員 よろしく願いいたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。よろしいですか。

いずれにしても、教育環境は子どもたちの安全・安心の基盤でございますので、しっかりと計画的に整備をしましてまいりましたけれども、特に昨今、猛暑ということがございまして、特別教室に関しましては前倒しというご判断を市長部局からいただきまして、工事が早く進められることになりまして、本当によかったなと思っているわけでございます。

子どもたちも安全・安心の中で、しっかりと勉強に励んでいただける環境を教育委員会としてもこれからも計画的に整備してまいりたいと思っているところでございます。

ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 私から1点だけお尋ねしたいのですが、今後の対応が必要なものの中で体育館への空調設備、LED照明への切り替えがあるわけですが、これについての見通しみたいなものがもしお分かりでしたら、よろしくお願いいたします。

○小町教育長 庄司教育総務課長。

○庄司教育総務課長 まず体育館への空調機設置でございますが、東京都、国も補助スキームを示してございます。暑さ対策のために国も東京都も対策を考えてくれというそういうことだと思います。

私も区部のほうに視察をさせていただきました。幾つかのやり方がありますけれども、もともと体育館の空調というのは、暖めたり冷やすということは想定してないので、あと大空間でございますので、どういうふうにやって空調をつけるか、冷やすか、暖めるかというところが課題です。区によっては断熱をさらにやって、1億ぐらいのお金をかけてやっているところもありますが、それを28校やってしまうとそれだけで相当のお金と期間になってしまう、そういったことが1点ありますが、では暫定的に冷たい風、温かい風を送るような簡易的なものということでやる方法もあります。体育館は老朽化をしているところもございますので、

そういったここ何年か体育館の空調を付けるということで、しのげるといったら変ですけども、使えればいいという考え方が後者のやり方、費用を浮かせることができるということもございます。また再編の関係で学校の建替えというところもございますので、何ともここは言えないのですが、ただ他の市が31年度、32年度に取り組みをする市が出てきたということもございますので、ここは市長部局と相談しながら、できればやっていきたいなと思っているところでございます。

様々なご意見をいただいているところでございますし、こういった方法が立川に馴染むのか、財源も含めて、今幾つかプランはありますけれども、最適なものをご意見を聴きながらやっていきたいなと思っています。

LED照明につきましては、実は大きな動きがございまして、32年度以降、水銀灯が製造中止になります。その時点で水銀灯が全くないということはないと思いますけれども、やはり世の中の流れはLEDなので、明るくて交換するにもその頻度が低いということがありますので、これはLEDにしていきたいなと考えております。これはある程度認めていただけるかなと考えていまして、何年間かの計画に分けて替えていきたいなと思っています。大規模改修をした学校は既にLEDになっていますので、流れ的には事例がございまして、それに倣った形で計画的に進めていきたいと思っているところでございますが、これも31年度以降の話でございまして、財源をみながら、市長部局と相談しながらやっていきたいなと思っているところでございます。

○小町教育長 田中委員。

○田中委員 先ほど小町教育長からお話がありましたように、市長部局との連携をとりながら計画的に、安全・安心という視点で是非進めていただきたいと思います。その段階で計画の実施状況が具体的に分かりましたら、またご報告いただければありがたいと思います。

○小町教育長 体育館の空調に関しましては国と東京都が補助のスキームがここで明らかになりまして、詳細につきまして、計画的に取り組むという自治体を応援していただけるという枠組みのようでございますので、情報をしっかり分析させていただいて、先ほど課長が申し上げたとおり、立川の建物、子どもたち、教員の最適な体育館の空調のあり方というのを検討してまいりたいと思っています。また引き続き教育委員会のほうには報告させていただければと思っているところでございます。

LEDに関しましては環境面ということもございまして、電気をくわないとか長持ちするということを考えますと、トータル経費としてLED化したほうが逆に言うと経費削減になることは間違いございませんので、そういった観点をしっかりと踏まえてということでございます。

戻りますけれども、体育館に関しましては教育的な配慮もあるわけでございますけれども、避難所としての機能もございまして、そういったところを備えるというような意味付けもあるかなと思っていますので、これはオール立川市で取り組んでいきたいと考えているところでございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○小町教育長 では、1 報告(1)教育環境の整備について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(2) 平成30年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018 (立川市民科)」について

○小町教育長 続きまして、1 報告(2)平成30年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018 (立川市民科)」について、を議題といたします。

小瀬指導課長、ご説明をお願いいたします。

○小瀬指導課長 それでは、平成30年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018 (立川市民科)」について、ご説明をいたします。

A3 判の資料をご覧ください。

まず、児童会サミットは12月8日土曜日、生徒会サミットは12月1日土曜日に開催いたしました。それぞれ各学校の代表の児童と生徒が集まり、小学校、中学校共通のテーマを今回設定しています。まずは2020東京オリンピック・パラリンピック大会に向けての各校の取組を報告し合いました。その後、SNS等の使い方について、そして10年後の立川の姿を協議いたしました。

まず上段の児童会サミットの中央ボックス、報告「2020東京オリンピック・パラリンピック大会への取組」をご覧ください。

①が取組になっております。オリ・パラの選手・プロ選手等の話・体験・交流活動、また日本文化の体験等々行った学校が非常に多かったと聞いております。

それから課題としては、まだ一部関心が薄い人がいると。また、高学年から中学年、低学年、全学年に広めていく必要があるということが出てございました。

今後どのように取り組んでいくのかというところは、非常に小学生らしくていいなと思っているのですが、参加国の郷土料理を食べるとか、また、これも大事なことかなと思いましたが、日本にいる外国の人と積極的にコミュニケーションをとっていくというような報告がなされました。子どもたちはこの報告から、自分たちの「思い・想い」をもった東京2020にしていこうというふうな願いをもったようでございます。

続いて左側のボックス、議題1「SNS等の使い方について」を見てください。

①は現状でございます。SNS等の使用は全体で50%位、高学年になると80%のぼるというような意見が出されました。

取組では、全校朝会でSNS宣言を学級ごとに行っているとか、また、③今後、どう取り組んでいくのかというところで、非常にユニークな発想だと思いました。SNSルール・ソングをつくると。そうすればしっかり自覚できるのではないかとございまして。

ただ、子どもたちの報告会から、本当に他人事ではなくて、自分たち一人一人の意識を高

めよう、そういうことがとても大事なんだということを掴んだようでございます。

続いて右側のボックス、実はこの議題は初めて出てきたものです。議題2「10年後の立川について」ということで、まず①で現状、そして②、子どもたちなりにどんなまちに立川をしていきたいのか、そのためにどういうことをする、というような三段立てで議論をいたしました。

①のところでは、自然が少ない。交通渋滞・事故が多いとか、歩道が狭いところがある、というふうな面もございました。またモノレールが便利、たくさんの路線がある。タブレットを使った授業をしている、というような現状でございました。

②どのようなまちにしていきたいのか、「犯罪がなく福祉や環境にやさしいまち」とか、「PCC・タブレットあふれる学校」にしたいという意見もございました。

ではそのためにどうしますか。子どもたちなりに、街灯をもっと多くしたらいいとか、広い歩道をつくったらいいとか、ファーレ立川に、これはおもしろかったですが看板に説明がありますが、英語の説明も加えたらどうだという意見が出ていました。

このことを踏まえて、子どもたちは、今までどちらかというと、まちづくりとかというのは受ける側だったんですけども、自分たちで計画したり、こういうふうにしたらいんじゃないか、提案ができるんだという実感を掴んだようでございます。

この3つのテーマから子どもたちが感じられたこと、私しっかり聞いておりましたけれども、子どもたちなりにある意味SNSこれは3回目話し合っていますけれども、社会の課題です。課題がやっと解決したなと思ったら、また課題が出てくる。でも重要なのは、だめだとあきらめるのではなくて、繰り返し繰り返し考えて、話し合って提案していくことだ、そういうことを掴んだようでございます。

続きまして生徒会サミット、12月1日でございます。

中央のボックスを見ていただきたいのですが、やはりこれも「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の取組」。

①取組、②成果、中学生らしいのは、オリンピック・パラリンピックに関する知識が増えたとか、関心・意識が高まった。中学生になるとなかなかしっかり言うなと思いましたけれども。

③の中では、一部に関心のない人がいるとか、積極的な関わりが弱いとか、まだ遠い存在だとか、そういう中でこれもおもしろかったです。現在の取組を続けていくんだけれども、その中で気持ちを入れていくのが大事なんだとか、また、きょうの報告を生徒朝会で伝えていく等々の発言がございました。

続いて左側のボックスを見ていただきたいのですが、議題1「SNS等の使い方について」。

①は現状です。どうしても動画を視聴しすぎてしまうとか、投稿、いじめの問題もある。SNS利用者が多い。これ中学生らしいですね、情報格差が出ているんだということを言っていました。

②取組です。これもおもしろかったです。使うよさも話し合うけれど、使わないよさも

っと話し合ったらいいんじゃないか、そういう意見が出ておりました。それから中学生なりに工夫しているのは、調査をした結果、結果をグラフで分かるように、もっと友達に広めるためにするんだとか、啓発ポスターを作り掲示していると。

③、これも驚きました、町内でのルールづくり。何を言いたいかというと、町の中、学校だけではなくて大人もみんながSNSにはまっている。これはもう子どもたちの問題ではないというふうな認識でございました。非常に興味深かったです。

右側のボックスを見ていただけたらと思いますが、議題2「10年後の立川市」について。

①は現状です。子どもたちなりに、昭和記念公園があって、観光の中心なんだとか、立川の今の現状ですけれど5教科だけデジタル教科書になっている。それからスポーツ施設が少ないとか、社会科見学で行っているからでしょうか、うどづくりがあまり知られていないという、そういう観点から出てございました。

では、どんな姿にしたいのということで、昭和記念公園のよさが活きているとか、全教科書をデジタル化にしていだきたいとか、スポーツの市になっているとか、うどづくりのまちになっている、そういう理想的な姿が出てございました。

では姿を変えるためのアイデアはということで、昭和記念公園にオリ・パラに関する行事を計画的に実施したらいいんじゃないのとか、音楽や美術等専科の授業でもデジタル教科書を活用したいとか、また、うどを名産品としてPRするとかというふうな意見が出ておりました。

この3つの報告会、2つの話し合いを通して、子どもたち、生徒の代表ですが一人一人が知り、感じたこと、考えたことを自分の中だけでとどめておくのではなくて、伝え合っていく、そういう中でアイデアが出たり、話し合いをすることで解決策も創り出せるのではないかと、そういうふうなことを掴んだかと思っております。

本サミットは平成30年度で3回目にあたります。私、3年間みてきているのですけれども、年々非常に議論が深まっているなど。また来年度は10年後の立川について、さらに深めていけると、子どもたちなりの提案が出るのではないかなと思っております。

報告は以上でございます。

○小町教育長 報告ありがとうございます。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

はい、松野委員。

○松野委員 子どもたちなりにいろいろな討議をしたことが、そして一堂に会してお互いに譲歩共有したり高め合ったりする、いい場になっていると思いながら報告を聞いておりました。

さてこの3つのテーマ、SNSそしてオリンピック・パラリンピック、そして10年後の立川、いずれの問題も今子どもたちが住んでいるこの立川の、しかもそれぞれのまち、そして学校、生活、ここから出てくる課題であり、あるいは解決しなければいけない取組というふうになっているんだなと思いながら聞いておりました。

ということだったらこれは、私はこれからの例えばコミュニティ・スクールの中で地域学

校協働本部と一体となってまちづくり教育の一環として関連付けていけないのかと思いながら聞いていたんです。そして前回の教育委員会でも話題になった例えば救命救急の講習あるいは多摩武蔵野検定、こんなものも活かしていくと何年後かにはたぶん立川の観光大使として結構子どもたちが活躍できるような内容だなと思いながら、もっとそういったものをどうなんだろう再構成してみて、つながりとか子どもたちがやる活動の場面、お互いに共有し合うところ、そして派生するような場あるいは仕方、こういったものも構成しなおしてみたら私はかなり定着できるいい教育活動になるだろうと思いながら聞いていましたが、いかがでしょうか。

○小町教育長 小瀬指導課長。

○小瀬指導課長 是非その方向で考えていきたいと思います。

1つ、子どもたちからもらったなという発想で、実は児童会サミット・生徒会サミットが終わった後ふと思ったのですが、来年度コミュニティ・スクールが全校になるわけですね。そのときに、学校、地域、それぞれの家庭、学校というところは先生とか校長先生とかあるんですけど、また生徒会とか児童会も、それも一緒に学校づくりに関わっていかせたいなというふうな、この会が終わった後、これは広めようと思っております。

○小町教育長 松野委員。

○松野委員 そちらも極めて重要な課題というか、それはそれで必要だと今思いました。それらも含めてもう一度、これから始まるコミュニティ・スクールに合わせながら整理をされたらいかがかなと思いました。

○小町教育長 ほか、ございますか。田中委員。

○田中委員 今回、この児童会・生徒会サミット2018、本当にすごいですね。何がすごいか、子どもたちが、今までどちらかというと受動的で指示待ち型だったものが、主体的に考えて提案型に変わっているんですね。これはすごいことだと思うんです。この背景にはネットワーク型学校経営システム、これが確実に大きな成果としての一つの形ではないかと思います。

特にこの中でSNSの使い方について、児童会から出されているSNSルール・ソングをつくる、すばらしいじゃないですか。また生徒会で啓発ポスターを作る、町内でのルールづくり、こんな大事な視点をもっているところに子どもの心の豊かさ、発想の豊かさを実感いたします。

その中でも「2020年東京オリンピック・パラリンピック大会への取組」もそうですし、「10年後の立川市」では、児童会でフェアレ立川に英語での説明の看板を作ると。先ほど小瀬指導課長からも説明がございました。これもすごいですよね、立派な発想だなと思います。あるいは駅周辺にグリーンを増やすといいです、こんなことも書いてありますし、また生徒会では「スポーツ市になっている」、「立飛アリーナでテニス大会等を定期的開催する」、いいですね。本当にそうすると立川が多摩地区の中核都市としてさらに大きな機能を果たしてくるのではないかと。その上で立川の名物であるうどですけれど「うどづくりのまち」、このうどをPRする、10年後の立川のまちが本当に楽しみです。それまで長生きしていきたいと思っ

ています。これには子どもたちの豊かなアイデアと俊敏な心に感動します。

併せて、これらの取組が多文化共生社会の構成につながり、なおかつ立川市民科の趣旨である、立川のまちを愛し、立川のまちづくりに参画する主体的・自立的な立川市民の育成を目指していく、ここにも直結していますね、子どもたちの意見あるいは提案については。

市民の方々がこれを知ったら、きっと大きな子どもたちの可能性に感動されるのではないかと。改めて子どもの可能性の無限大、このことを実感いたします。

○小町教育長 ほか、ございますか。伊藤委員。

○伊藤委員 本当に子どもたちのこういうのを見ると、わくわく楽しくなってきます。ただ、当然今、オリンピック、昭和記念公園というのがありますけれど、この中で来年ですか美術館等ができたなら、もう少しアートとか音楽というほうにも興味も出てきてくれるといいかなというのが私の感想でございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。嶋田委員。

○嶋田委員 子どもたちが自分たちで考えて意見を出し合って、こんなすばらしいものが出てきたというのは本当にすごいことだなと思って、ありがとうございます。

やはりSNSの町内でのルールづくりというところがとてもおもしろいなと思ひまして、やはり大人も確かにSNSとかスマートフォンに振り回されているという現状が周りでも多く見受けられますので、子どもたちから提案されると大人も考えるいいきっかけになるのではないかと思います。そういうところもコミュニティ・スクールの場合などでも子どもたちからSNSの使い方についてなど提案してもらえるといい議論になるんじゃないかなと思ひました。

○小町教育長 子どもたちは期待以上に本当に真摯に取り組んでくれまして、特に中学生は児童会サミットのほうのファシリテーターも務めていただきまして、小学生のお兄さん、お姉さんとして出過ぎずしっかりと後ろから支えていました。大人でもファシリテーターは難しいですけども、しっかりとその場をまず最初にアイスブレイクで和ませて、少しミニゲームをやって和ませて、その後うまく意見が、小学生が引き出せるように中学生が心づかいをしていたということで、とても今私、印象に残っているところでございます。そういったところまで中学生は既に到達してきたということで本当に心強く思うところでございます。

今、嶋田委員もおっしゃられていた、松野委員もおっしゃられていたコミュニティ・スクール、いよいよ出発するわけでございまして、ここに逆に児童会・生徒会から提案を聞いてもらおうと、コミュニティ・スクールの運営協議会が提案を聞くというような場面も、私も今お聞きしていてそんな場面もつくれると、とても子どもたちも一緒にやっていく、両方が主体的に学校づくりを取り組む、大人だけではなくて僕たち私たちも一緒に参画すると、そういった流れがいい意味でできてくるなというふうな、夢もふくらむようなサミットでございましたことを一言付け加えさせていただきます。ありがとうございます。

○小町教育長 ほか、ございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

○小町教育長 では1 報告(2)平成30 年度「立川市 児童会・生徒会サミット2018(立川市民科)」について、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(3) 入学準備金の支給について

○小町教育長 続きまして、1 報告(3)入学準備金の支給について、を議題といたします。

浅見学務課長、報告をお願いいたします。

○浅見学務課長 就学援助制度における入学準備金の入学前支給の実施について、ご報告いたします。

子どもの貧困対策の観点から、義務教育の就学を援助する就学援助制度の運営について、小中学校入学準備のためのいわゆる入学準備金の支給について、本市といたしましては平成29 年度にまずは新中学校1 年生を対象に入学準備金の入学前支給を実施いたしました。

平成29 年8 月24 日に開催された第16 回教育委員会定例会においてご報告いたしましたのが、本年度は新小学校1 年生の保護者を対象に入学準備金の支給について、別紙資料のとおり実施いたします。

以上で報告を終わります。

○小町教育長 報告ありがとうございます。

これより質疑に移ります。報告内容を踏まえ、ご質疑をお願いします。

はい、田中委員。

○田中委員 今の報告を伺って本当に保護者の笑顔が、ああよかったと、そんなのが目に浮かぶようです。改めて昨年3 月に実施されました中学校新1 年生、さらに31 年3 月から実施される小学校の新1 年生の入学準備金の支給、しかも増額予算ですからすごいことですね。それが可決したということは本当に保護者の方がどれほど喜んでおられるかうれしい限りです。改めて清水市長、また小町教育長はじめ庁内関係者の方々、さらには市議会の議員の方々に心から感謝申し上げます。

○小町教育長 ほか、ございますか。松野委員。

○松野委員 懸案となっていること、こうやって実現していただいて、私も田中委員と同様に感謝です。これは本当にいいですね。

○小町教育長 ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

○小町教育長 ではないようでございます。これで報告(3)入学準備金の支給について、の報告及び質疑を終了いたします。

○小町教育長 続きまして、その他に移ります。

その他はございますか。

〔「ありません」との声あり〕

◎閉会の辞

○小町教育長 次回の日程を確認いたします。次回、平成 31 年第 2 回立川市教育委員会定例会は平成 31 年 1 月 24 日木曜日、午後 1 時 30 分より、302 会議室で開催いたします。

以上をもちまして、平成 31 年第 1 回立川市教育委員会定例会を終了いたします。

午後 1 時 4 6 分

署名委員

.....

教 育 長